

10月号

2011(平成23)年
10月31日発行

SCHOOL
JURIDICAL PERSON
OSAKA
SANGYO
UNIVERSITY

学園ニューズレター
[ネオス] No. 17

発行元：学校法人大阪産業大学
総合企画室 学園広報課
〒574-8530 大阪府大東市
中垣内3丁目1番1号
TEL：072-875-3001
<http://www.osaka-sandai.ac.jp>

未来の車を キャンパスから

■特集……02

■**本学燃料電池車に運輸局認可**

■「運動の秋」特別企画……04

■**熱きスポーツへの思いを科学する。**

■東日本大震災ボランティア関連……06

●**まずは行動すること**

●硬式野球部が石巻市で復興ボランティア

●被災地で感じたこと

●陸前高田市・釜石市でボランティア

■産中アスリート3人に聞く……10

■スチームアップこの人……11

■「自他共楽」の実践をめざして努力する日々

■大産大中 山川智博先生

■第46回阪駒祭……14



本学燃料電池車に 運輸局認可



国内初 公道走行可能に

大阪産業大学では、新エネルギーとしての太陽光を利用したソーラーカーや電気自動車を始め、2007年度は市販乾電池を動力源としたオキシライドレーサーで時速100キロを超えるギネス世界記録を達成。中国の大学と共同でシルクロード2000km横断プロジェクト、World Solar Challengeに出場してオーストラリア3000km縦断プロジェクトなど、次世代ビークルの開発と共に環境問題に積極的に取り組んできた。

今回「OSU-T4」と命名した燃料電池自動車を製作すると共に、国土交通省・近畿運輸局より「組立車として日本で初めて認可を受けた燃料電池自動車」として、ナンバープレートを取得して公道走行を行えるようになった。組立認可された燃料電池自動車は、国内初はもとより、自動車メーカーでない大学としても初めての成功。これにより現在、日本の公道を走っている燃料電池車(ただし道路運送車両の保安基準第56条4項の自動車を除く)として、トヨタ・ホンダに次いで大阪産業大学が3番目として加わった。

大阪産業大学では、さまざまな次世代型自動車開発に加えて独自に開発した高温過熱水蒸気を用いた草木系バイオマスの完全ガス化による水素を含むバイオガス製造や、新しい特殊触媒を用いた水蒸気からの水素製造にも取り組んでいる。今回の燃料電池自動車は、このように水素の製造から消費までという一貫した研究開発をベースにして、バイオガスや水素燃料の使用も視野に入れたコンセプトモデルカーだ。

一方、学生を育てる教育の観点から、ソーラーカー・電気自動車・燃料電池車など環境に優しい自動車開発を始めとする約30ほどの具体的なテーマで、学生が主体的に取り組む「プロジェクト共育」を実施し、知識力に加えて社会人基礎力の育成に努めてきた。

燃料電池車の開発は、次世代の新エネルギービークルプロジェクトの一環として2004年度から学生参加のもと産学連携で進めてきた成果。また同プロジェクトは、06年度から10年度の文部科学省・私立大学学術研究高度化推進事業「サステナブル森林保全用草木系

バイオマスガス化発電装置の開発」の一環として行った事業の成果でもあり、ここに記して謝意を表す。



工学部
交通機械工学科
山田修教授

家庭ごみで走れる車を

学生と目標を達成できたことは、本当に幸せです。将来は、家庭ごみで走行できる車を学生と作りたい。



法が多い
プロジェクトリーダー
工学部機械工学科3年生
西峯弘泰さん

先輩方の思い継承

これまで、このプロジェクトを支えてくれた先輩方の思いを継承し、実現できたことに感謝しています。関係してくださった皆さんに感謝しております。

第7回

大阪モーターショー

2012.1/20② ▶ 1/23②
インテックス大阪

燃料電池車他出展予定

ソーラーカー総合2位

EV総合優勝

新エネルギー総合2位

次世代カーレースで活躍

鈴鹿サーキット国際レーシングコース

8月5日から7日にかけて、鈴鹿サーキット国際レーシングコースで次世代自動車によるカーレースイベント「FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿 2011」と「2011 Ene-1 GP SUZUKA」が行われた。

環境自動車の研究開発と技術者育成で、高い評価を受ける大阪産業大学の「ソーラーカープロジェクト」、「Electric Vehicle(電気自動車)プロジェクト」、「新エネルギービークルプロジェクト」の3プロジェクトが、今回開催されたレースの全競技に参加した。「ソーラーカーレース鈴鹿 2011」にチャレンジし



た「ソーラーカープロジェクト」は全クラスを含めた競技で総合2位の成績を、「EVパフォーマンスチャレンジ」に出場した「Electric Vehicle(電気自動車)プロジェクト」は総合優勝を、「KV-40チャレンジ」にチャレンジした「新エネルギービークルプロジェクト」はKV-2クラスで総合2位、部門分けクラスで優勝といった優秀な成績を修めた。

かねてより輝かしい実績のある「ソーラーカープロジェクト」の入賞を始め、初開催の環境自動車レースイベントでも、全競技で表彰台に登ることができ、大阪産業大学の持つ高い技術力とプロジェクト共育による学生の教育効果を発揮できた。



ソーラーカーレースに出場した
三浦愛さん
(工学部機械工学科4回生)

3連覇をかけた学生生活最後のレースは自信と不安が入り混じったレースでした。でも、この4年間で一番力を出し切れたレースになりました。悔いの残るリザルトでしたが、支えてくれた先生方やプロジェクトメンバーの存在の大きさを改めて感じることができました。この4年間で良かったことは、多くの人と出会えたこと、高校以上の新たな知識を身につけられたこと、いろんな食堂でおいしいランチを食べられたことです。(笑)

勝利の秘訣はスムーズ充電

四国EVラリー2011で連覇

公道を走行可能な電気自動車に参加する「四国EVラリー2011」が8月20日・21日に愛媛県で開催された。日本国内の電気自動車レースの草分け的存在で、今年14回目。本学の「Electric Vehicle(電気自動車)プロジェクト」は見事に連覇を達成した。リーダー佐藤貴之さん(工学部交通機械工学科4回生=以降S)とサブリーダー岩崎高次郎さん(同3回生=以降I)がレースを振り返った。

Q: どのような競技なんですか?

S: サーキットを走るというものではなく、公道を一般車両と一緒に走ります。競技はポイント制で、スタート地点を中心にして県内に複数のチェックポイントが設置されています。そこを回ってスタート地点へ戻ればポイントが得られます。

Q: 昨年と比べてどうでしたか?

S: EV開発に定評のある企業チー

ムも参加していたので非常に厳しかったです。それでも、先生方が緻密な作戦を立てて下さり、サポートメンバー達の協力もあって連覇を達成することができました。

Q: 作戦はどのようなものだったのですか?

I: 一番前に、コースを試走したメンバーたちからの情報を集めて、「このコースは高低差が多いから、意外にバッテリーの消耗が早いな」

など気付いたところを細かくメモしていきました。競技中は常にバッテリー残量と走行距離を意識しながら、駆け引きが続きました。

S: 僕たちドライバーは運転席のメーターでバッテリーの残量が分かるので、それを無線で岩崎君たちメカニック班に伝えて、バッテリーマネジメントや次の走行計画などの検討をしてもらいました。おかげで、ロスなくスムーズに充

電を行うことができ、勝利につながったと思います。

Q: 今後の目標を教えてください。

S: プロジェクトメンバーや後輩たちには今まで以上の成果を挙げてもらおうことを期待しています。EVプロジェクトで4年間活動してきて連覇を経験することができ、参加し続けた甲斐があったと実感しています。



体力を詳細に測定し、
トレーニングに役立てる！

人間の体力、持久的能力を調べる心肺運動負荷試験を行っています。被験者に自転車をこいでもらい、運動中の呼吸や心拍数、血圧などを計測し、どの程度の運動まで安全に行えるかを評価しています。今年の夏にはテレビ局からの依頼で「大阪マラソン2011」に参加するタレントさんの試験も行いました。基本的にこの試験、機材は心臓病患者の方のリハビリ用ですが、アスリートの方に应用すれば、トレーニングメニュー作成にも役立ちます。試験の普及に取り組みたいです。

てんげいじ
天花寺祐紀さん・3回生



走る前に体力確認を

実際に走る前に、自分の体力がフルマラソンに耐えられるかどうかを確認してみましょう。ご相談いただければ、皆さんの体力を心肺運動負荷試験で調べます！

濱口幹太さん・4回生



ガンバリすぎないで

初めからガンバリすぎは禁物。ケガをしかねません。スポーツ初心者の方は、ウォーキングから始めてみてだんだんとレベルを上げていってはいかがでしょう。

Twitterアカウント名
bloomingkankan

ケガの実態調査から、
予防法と対処法を見つけ出す！

ケガの種類、原因、頻発する場所・時間帯といったスポーツ障害の実態を、市民ランナーを対象に研究しています。昨年は「宝塚ハーフマラソン」に救護班として参加。ケガなどの症状が現れた選手の事前の練習量や体調を調査しました。練習量が少なく不安を抱えている人、つまりメンタル面が不安定なほど、ケガの可能性が高くなると感じました。将来の夢は保健体育の教員。子どもたちがケガなくスポーツに打ち込めるように予防法と対処法をしっかりと学びたいです。

アスリートとしての
経験を活かし
市民の健康づくりを
応援したい！

スポーツによって引き起こされる障害について研究中です。長距離ランナーとして世界大会に出場した経験を活かし、現役引退後は指導やセミナーを行っていたのですが、科学的側面を学ぼうと32歳にして入学。2回生時に設立した会社でのマラソン指導やセミナーにおいて、ケガの要因や走法の利点に対してより説得力のある講演ができるようになっていきます。現在のマラソンブームを持続させること、そして皆さんの健康づくりの一助になることが、今の私のめざすゴールです。

「運動の秋」特別企画

熱きスポーツ 思いを科学

スポーツ健康学科生が

運動の秋、スポーツの秋にふさわしく、人間環境学部スポーツ健康学科の学生たちに突撃インタビュー！ 研究内容や夢を語ってもらった。また近年ブームの、マラソンビギナー向けのアドバイスも。この秋始めてみようと思う人は参考にしてみてもいいかな？

高尾憲司さん・4回生



笑顔のペース保って

まずは笑顔で誰かと会話しながら走れるペース、つまり有酸素運動を持続させましょう。また、長く続けるという意味では競争相手を見つけることも大切ですね。

Twitterアカウント名
blooming5323

あるメーカーからの要望で、スポーツウェアの特性チェックを行っています。私の担当研究は「筋疲労」。ウェアを着用して運動することで起こる筋肉の疲労度合いを乳酸値等から調べ、疲れにくいウェア、発汗作用の高いウェアなどの研究開発に携わっています。柔道をしていて減量の辛さを知る自身の立場から言えば、汗をたくさんかけるウェアの存在はうらやましいですね。いつか皆がこのウェアを着て、パフォーマンス向上につなげてもらえれば嬉しいですね。

筋肉の疲労度合いを知り、運動パフォーマンス向上へ！

藤井政仁さん・3年生



準備運動をしっかり

マラソンに限らずスポーツは準備運動が肝心。私も柔道でケガをしましたが、しっかりと柔軟体操などをしておけば予防できたケースが多々ありました。

目的別に用具選びを

ダイエット目的と本格的な競技への参加では用具も変わります。前者であれば「バランスの取りづらい、シューズを試してみるのもいいかもしれません。」

マラソン初心者へアドバイス

ウェアへの
する。

準備運動せず筋肉の温度「筋温」が上がらないまま運動すると、筋肉が動かず、ケガの原因になります。現在行っている4種類のスポーツウェアの特性チェックで、私の調査担当がこの筋温。ウェアを着て運動した際の筋温を計測し、疲労や脂肪燃焼との関わりを調査。通気性の悪いウェアほど筋温が上がり、脂肪燃焼効率が良いことがわかってきましたが、科学的な因果関係は分析中です。成果をあげて、将来は機能的かつデザイン性のあるバスケットシューズ開発に取り組みたいです。

筋肉の温度に着目し、理想のウェア開発に挑む！

吉村尚紘さん・3年生



ウェアを使い分けよう

走る時間帯によってウェアの使い分けを！ 日中なら汗を吸収し速乾性もあるアンダーシャツを、夜であれば身体を冷やさないように上にはおるものも必要です。

古林千寛さん・3年生



効率よく脂肪を燃焼するスポーツウェアを生み出す！

メーカーから提示されたスポーツウェアの脂肪燃焼効率について調査中。市販の“脂肪燃焼系ウェア”は、生地が厚くアスリート用で一般人には不向き。メーカー側の要望はスタイリッシュなジャージを開発することです。以前、調査をした際には、あまり圧迫感のないウェアが最も効率が良かったのですが、今回の結果は正反対。そこから生地の通気性に着目し、より詳細に分析中です。研究のおかげでアルバイト先のスポーツ店でも、お客さんにアドバイスができるようになりました。

熱心な調査から生まれたアドバイスを参考にがんばってください



「大阪マラソン2011」に関わるスポ健の学生を中心に、研究テーマについて語ってもらいました。皆、それぞれの役割を自覚し、熱意をもって調査・実験に取り組んでいます。大阪マラソンを取り巻く

熱気と無関係ではないかもしれません。

「求める姿勢を持ち」、「その気になっている学生」と関わる時間は、教師の大きな楽しみの一つです。ここに紹介した彼らは、全員、「自分には何かもっと面白いことができるのではないか?！」と飛躍のチャンスを虎視眈々と狙っています。私は、そんな彼らに「少しムリ目の課題」を出します。つらいけど、やってみて、成果を得た時に、彼らは自らの可能性を再発見するでしょう。彼らの「もっとできる!」を引き出すことが私の役割と思っています。がんばれ。スポ健生! がんばれ。産大生!!

スポーツ健康学科 准教授 佐藤真治

まずは行動すること

硬式野球部が石巻市で復興ボランティア

9月22日～25日、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県石巻市で硬式野球部(宮崎正志監督)の学生40人がボランティア活動を行った。ガレキや泥の撤去を行い、児童、生徒向けに野球教室を開いた。1日目は鹿妻小学校、2日目は石巻工業高校で古川高校の生徒と合同で行われた。野球部員たちは鹿妻小学校の体育館に宿泊し、被災者の方々と生活を共にすることで復興にはまだまだ多くの援助が必要だということを肌で感じていた。



Q どうしてボランティア活動に参加しようと思ったのですか？

安本：震災が発生してから半年が過ぎましたが、現地の報道が少なくなってきたのが気になっていました。この目で現状を知って、少しでも被災された方々の力になりたいという思いで参加させていただきました。

Q 被災地に到着したときの第一印象はどうでしたか？

中村：半年経った今でも電柱が倒れていたり、崩れた壁ばかりを目にして、「本当に復興は進んでいるのか」と驚くと同時にショックを受けました。

Q 現地ではどのような活動を行いましたか？

西元：ガレキの撤去や避難所として使われている体育館の掃除、そして地元の高校生と小学生



たちに野球教室を開きました。それ以外にも、子どもたちと一緒に遊んだり、高齢者の方々とお話しさせていただくことができました。

Q 野球教室に参加された生徒さんの反応はどうでしたか？

齋藤：石巻工業さんも、古川高校さんの野球部員達も、本当に明るく元気いっぱいだったのが最初の印象です。野球教室が始まって楽しく熱心で、野球が上手になりたいという思いが素直に伝わってきました。



中村隆斗さん
人間環境学部
文化コミュニケーション学科
1回生

西元樹さん
経営学部
経営学科
2回生



安本慎也さん
人間環境学部
スポーツ健康学科
3回生

齋藤信也さん
人間環境学部
スポーツ健康学科
4回生



被災地で感じたこと

陸前高田市・釜石市でボランティア



岩手県

釜石市

陸前高田市

8月29日～9月2日、本学学生7人が東日本大震災で大きな被害を受けた、岩手県陸前高田市と釜石市でボランティア活動を行った。その様子を大谷隼士君(工学部 都市創造工学科1回生)が寄稿してくれた。

●到着したときの第一印象

街中を車で走っていると、海から近い場所はもちろん、海から離れた場所にある保育園や家、ガードレールまでもが地震と津波の被害で壊れたままの状態が残っていました。物という物に被害が及んでいて、正直、覚悟はしていたつもりだったんですが声にならなかったです。

●現地の団体に参加

現地のボランティア団体「遠野まごころネット」では主に陸前高田市、釜石市、大槌町の3つの地域で活動を行っており、僕たちは大阪産業大学として参加させていただきました。



小川作業前

小川作業後

た。1日目、2日目は陸前高田市で、津波によって土に混入したガレキを撤去し、田畑を再生する作業を行いました。3日目の釜石市では津波で消滅した海沿いの小川を修復する作業を行いました。

●作業を通じて感じたこと

やはり現地に行ってみないと分からないことが多くありました。「震災から半年が経ち、ボランティアの人数も減ってきています。ガレキ撤去にしても完全に元に戻るのに2年はかかる」と遠野まごころネットのスタッフの方がおっしゃっていました。現地の方は普通の生活に戻れるように毎日毎日作業をされているということだけは忘れないようにしたいです。

遠野まごころネット事務局

住所：岩手県遠野市松崎町白岩字薬研淵1-3
電話：0198-62-1001
HP：http://tonomagokoro.net/

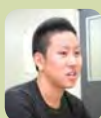
ボランティアに参加して

●大原啓汰さん
工学部都市創造工学科
1回生



起床6時、就寝22時というスケジュールで、残りの時間は全て復旧作業に取り組んでいました。

●稲垣大さん
工学部都市創造工学科
1回生



畑に積もったガレキの撤去が大変でした。多くの畑はまだ耕すことができない状態です。

●竹内弘樹さん
工学部都市創造工学科
1回生



津波で流れが大きく変わってしまった小川を元の流れに戻す作業に参加しました。

●川端宏典さん
工学部都市創造工学科1回生

●川原由大さん
工学部都市創造工学科1回生

●河合寛さん
人間環境学部
文化コミュニケーション学科4回生

サイエンスフェスタに参加

8月20日(土)、21日(日)の両日、大阪市北区梅田のハービスHALLで「青少年のための科学の祭典 サイエンスフェスタ2011」が開催された。

本学からは工学部情報システム工学科の高根准教授と同研究室の学生6人が「iPhoneで化学を学ぼう」というテーマでブースを出展した。iPhoneの本体を振って画面上の試験管の中で液体を混ぜる実験を行ったり、iPhoneやiPodの画面に触れて次々に出題されるクイズに挑戦することができるという内容だった。

この2日間での来場者は約2万5000人。本学ブースの受付は約700人だった。



来場者に対応する情報システム工学科の学生

石井友里さんが 天神祭で準ミス天神橋に



人間環境学部スポーツ健康学科2回生の石井友里さんが、「第31回天神祭ギャルみこし準ミス天神橋」に選ばれた。

応募人数330人という大変狭き門をくぐり、見事に準ミス天神橋の座を射止めた。その素顔はカラオケが大好きな今どきの女子大生だ。石井さんはミス天神橋と一緒にこれから1年間、来年の天神祭へ向けてPR活動を行っていく。

学生有志ら鍋田川清掃

エコ推進プロジェクトが9月19日、大学横の鍋田川の清掃を行い、学生25人と一般の方6人が参加した。

午後からは「水と生物」をテーマに参加者へのオリエンテーションも開催。プロジェクトリーダーの室俊一さん(人間環境学部 生活環境学科 4回生)は「一般参加者が集まった清掃は初めてで、うまく立ち回れないことも多くありました。それでも参加された方に楽しんでいただけて何よりです。みんなで一つの事に励む姿は素晴らしいと思います。エコ推進プロジェクトもそうやって環境活動に努め、キャンパスライフを豊かにしたいです」と話した。

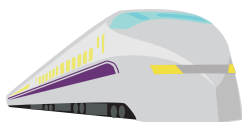


川底のゴミを集める学生ら

大阪産業大学大学院

「交通機械工学専攻」誕生 (2012年4月 設置予定)

交通機械の中でも特に社会に密着している自動車工学と鉄道工学を2本柱とし、自然環境と調和した高度な自動車や鉄道の研究を通じて、豊かな社会とその持続的な発展に寄与できる高度で実践的な産業技術者を育成します。



展示会出展の予定

11/9(水)~11/10(木)

東大阪産業展テクノメッセ東大阪

工学部自然エネルギーコースの紹介
担当：工学部都市創造工学科 水谷夏樹教授

12/7(水)

〈ナント〉農工商ビジネスフェア

大阪産業大学の大東市地域連携活動に係る展示
担当：建築・環境デザイン学科 川口将武助手



10月11日、本館1階多目的ホールにて内定者アドバイザーセミナーを開催。161人の参加がありました。

今年は昨年のブース形式からパネルディスカッション形式に変更し実施しました。内定をもらった4回生の体験は説得力がありました。

4回生に行った質問

- ・就職活動をはじめた時期
- ・企業へのエントリー数
- ・内定をもらった企業数
- ・就職活動で何から手をつけたか？
- ・就職活動で何が一番大事だと感じたか？
- ・就職活動で苦労したことは、ここだけの話(就職活動の失敗談)
- ・面接でこんな質問されました。

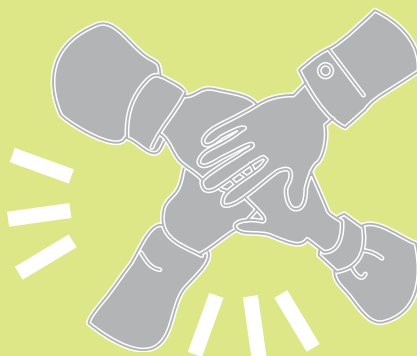


●当日パネラーを務めた学生の内定先企業
大鵬薬品工業(株)、ナビオユビキタス(株)、(株)オーグスポーツ、大和ハウス工業(株)、兵庫県警察、明和地所(株)、(株)りそな銀行、阪急鉄工(株)、矢崎総業(株)、奥村組土木興業(株)、(株)佐藤製作所、(株)NTTネオメイト、山九(株)

「焦らず」「挫けず」「諦めない」で
がんばりましょう

■2012年3月卒業予定者に対する支援について

キャリアセンターでは、就職活動中の皆さんが「焦らず」「挫けず」「諦めない」をモットーに全員の学生ががんばって希望の職場に就くことを願い就職支援をしています。



学内合同企業説明会を11月も

2008年秋のリーマンショック以降、10月で終えていた学内合同企業説明会を11月まで延長し、個別の企業説明会を翌年の1月中も開催して就職活動中の学生へ企業紹介しています。今年も後期には9月に1回、10月2回開催し、それぞれ14～16社参加があり、学生は毎回約100人前後の出席者があります。個別企業説明会もキャリアセンター視聴覚室、東部キャンパスAMC(自動車整備センター)で開催しています。こちらは、学部指定ということもあって10名程度となっていますが、今後も学生の意向を考慮し開催していきます。

●学内合同企業説明会今後の日程
11月11日(金)・25日(金)

■OB・OG講演会

「就職後は実力主義 大学名関係ない」

10月4日、本館1階多目的ホールにてOB・OG講演会を開催しました。

入社10年目、2年目、1年目の先輩に、学生時代の就職活動状況、入社後の仕事内容などを具体的に説明していただきました。3人の話で特に印象に残ったのが、「社会では大学名は一切関係ない」というメッセージでした。これから社会に出る学生、今後、就職活動を迎える学生にとって勇気づけられる有意義な時間になりました。3人の卒業生には本当に感謝です。

●当日の卒業生所属企業

(株)イトーキ、(株)トラベル日本、(株)オーグスポーツ

今後の行事日程(3回生)

11月

14日(月)面接マナー講座

15日(火)～17日(木)

就職用写真撮影(1回目)

22日(火)グループ面接・グループディスカッション講座

12月

5日(月)公務員セミナー

6日(火)～8日(木)

キャリア支援(業界研究セミナー)

就職用写真撮影(2回目)

10日(土)自動車産業セミナー

13日(火)～15日(木)

就職用写真撮影(3回目)

3回生の皆さんへ

第1回就職ガイダンス(5月17日開催)で就職ガイドブックを配布しました。当日欠席された学生はキャリアセンターまで取りに来てください。就職ガイドブックは就職活動に於ける「イ・ロ・ハ」がわかる冊子です。

■卒業生社長との 情報交換会および懇親会

「積極性をもって」 温かい意見

10月1日、梅田サテライトキャンパスで卒業生社長との情報交換会および懇親会が実施されました。

本山美彦学長挨拶、美内照男校友会会長挨拶、株式会社ミヤコ自動車の池田育弘社長ほか8名の参加企業の紹介のあと、山崎宏之キャリアセンター長＝写真＝より、キャリアセンターの取り組みや求人についての現状が説明されました。



情報交換会では、卒業生社長から、「就職難の現状の中ではあるが、積極性をもって頑張ってもらいたい」、「後輩である学生への支援を出来るだけしていきたい」などの前向きな意見をたくさんいただきました。第2部の懇親会では、卒業生社長の方々の大学時代に参加したクラブやプロジェクトでの思い出などで盛り上がりしました。



キャリアカウンセラーへ相談を

現在、悩んでいる就職活動中の方、今まで自分ひとりで就職活動を進めていた方、一度キャリアカウンセラーの先生へ相談を申し込んで下さい。今までに相談を受けた学生のアンケートから、「カウンセリングを受ける前にはなかった自信が固まってきているのを感じる」「自身で気付かないところを教えてもらい、心のもやもやが取れました」などの回答があります。1人ひとりに合ったキャリアカウンセラーの就職相談は12月まで支援が続きます。

●日程

11月 8日(火)・9日(水)・10日(木)

15日(火)・16日(水)

12月 6日(火)・7日(水)

「秋採用」へ9000社に追加求人依頼

本学では、09年度より実施している「就職非常事態宣言に基づく取り組み」の求人開拓で、例年、企業への追加求人依頼を年1回のところ、2回に増やしています。今年も7月と10月にそれぞれ約9000社に向け「追加求人依頼」をしました。「秋採用」の特徴は採用人数が少ないことと応募から採用内定までの期間が短いことです。採用人数が満たない場合の追加採用や採用活動を見合わせていた企業が急遽採用を計画した場合、採用人数が少なく倍率も高くなりますが、何カ月も結果を待つことなく、説明会+適性試験と1回の面接だけで決まる場合があります。本学に届いた求人注目して活動することが内定への近道です。



梅田でも履歴書用紙 履歴書用封筒の無償配布

学内のキャリアセンターと東部学生サービスセンター以外で梅田サテライトキャンパスでも配布しています。梅田サテライトキャンパスでは、パソコンで企業検索等も可能です。就職活動中の方、是非ご利用ください。

●梅田サテライトキャンパス

大阪駅前第3ビル19F

☎06-6442-5522



産中アスリート 3人に聞く

驚くような才能と実績を持ち、意欲溢れるアスリートが活躍するのは大産大だけに限らない。中学から高校、大学と総勢1万5000人あまりが学ぶ本学園は、まさに多士済々。今回は大産大附属中学校の3人を紹介しよう。



ウエイトリフティング部1年
あ のん
村上安穩さん



48キ
ロ級優勝
全国中学生大会女子

練習を辛いと思ったことはありません。

親戚のおじさんがやっていたので、私もウエイトリフティングに興味を持ち、小学生の時から始めました。練習でも上げたことのない重量を、試合になって気合いで上げられた時は感激です。全国大会で優勝した時の記録は、スナッチ38キ、ジャーク50キのトータル88キで、2位の人とは30キくらいの差がありました。48キ級ですが、今、実際の体重はそんなにありません。

大会で記録に挑戦する時に不安を感じることもありますが、顔には絶対に出しません。練習で辛いと思ったこともないですね。

目標は、高校時代にトータル100キを超える記録を出した八木かなえさんという選手です。八木選手の記録を全部、塗り替えたいと思っています。

少林寺拳法部1年
河原やよいさん



全国中学生大会女子
単独演武2位

鎮魂行で自分の魂を鎮めます。

少林寺拳法は、身体と心の両方を鍛える武道です。鎮魂行といって、練習の前などに、座禅に似た形で座って呼吸を整え、教を唱和して自分の魂を鎮めます。そういうふうに分の精神をコントロールできないと演武も上達しません。

祖父も父も少林寺拳法をやっていて道場を開いたりしていたので、私も3、4歳のころから父の道場に入出入りして、5歳で正式に入門しました。今でも父の道場で練習します。

でも、学校のクラブでは父の道場でやっていることとは違うことも学べますし、先輩の皆さんもやさしくて、楽しく鍛錬に励んでいます。小さい頃からずっと組演武に取り組んできましたが、皆で相談しながら構成を考える団体演武にもおもしろさを感じています。

水泳部3年
逢坂理歩さん



大阪府私学大会女子
100m平泳ぎ連覇

自己記録を更新できないのが悔しいです。

小さい時は水に顔をつけるのも怖くて、お風呂さえ嫌がっていました。それが幼稚園の頃に、親に連れられてスイミングスクールに通い始め、いつの間にか水泳が楽しくなりました。

私は実績と言っても何もないんです。私学大会で去年と今年、優勝できましたが、大会ごとに出場者の数もレベルも違いますから、自分ではあまり評価していません。とにかく2年の時に出した自己記録をずっと更新できないのが悔しいんです。

学校のクラブで中3女子は2人だけです。でも、高校生の先輩たちと一緒にですから楽しく泳げました。3年になった今は、進学をめざして部活は引退ですが、体力が落ちないようスイミングスクールには通っています。高校に入っても水泳を続けて、何とか自己記録を更新したいと思っています。



「自他共楽」の実践を めざして努力する日々

少林寺拳法指導に、生徒の学力向上に奮闘



1970年
大阪生まれ

大阪産業大学附属中学校
社会科担当

山川智博 先生

(少林寺拳法部顧問・少林寺拳法六段)

恩師のようにと少林寺拳法部へ

少林寺拳法を始めたのは、本校卒業後、関西外国語大学短期大学部に進学してからです。本校教頭である小野研一先生が私の高校時代の担任教諭で、その小野先生が関西外大の学生当時に少林寺拳法部を創部なされたのです。私は高校時代には少林寺拳法に関心はなかったのですが、教師としての小

野先生には人間的魅力を感じており、自分も小野先生のようになりたいと思って少林寺拳法を始めたわけです。

そして、やり始めてみるとその教えのすばらしさを知り、熱中しました。少林寺拳法には「自他共楽」という理念があります。「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」という言い方もします。自分も幸せになろう、他人にも幸せになってもらおうという教えです。単なる武道ではないのです。二人一組の「組演武」という形で技を競うのがその典型で、自分も相手も上達しないと演武が向上しません。

「優秀クラブ指導者賞」も受賞

学生時代は、大会に出場して順位にこだわる気持ちもありました。実際、全日本学生大会の組演武で入賞した実績もあります。けれども今は、「自他共楽」の教えを実践することに喜びを感じています。それはクラスでの生徒指導や学校運営でも同じです。担任を持ちながら中学部の入試渉外の仕事も担当しており、本校の少人数教育のすばらしさを社会にアピールしつつ、生徒一人一人の学力向上をめざして頑張っていますが、まだまだ努力不足と反省しています。

そういう意味では、教え子の中に優れた成績をあげる子が出るのが、喜びですね。平成19年に教え子の女子生徒が全国大会で優勝し、文部科学大臣賞を受けたのは嬉しい体験でした。この指導も評価され、翌年、大阪私立中学校高等学校連合会から「優秀クラブ指導者賞」もいただきました。

彼女は今、大産大の4回生として、やはり少林寺拳法に取り組んでいます。教え子たちが卒業後も少林寺拳法を続けてくれて、いろいろな大会や練習会などで再会することを楽しみに忙しい毎日を送っています。



大産大附属中学・高校

日本
男子初

2011ウィンブルドン・ジュニア4強

内田海智さん(大産大高2年)



6月下旬に開催された、ウィンブルドン選手権(英国)のジュニア部門の男子シングルス準々決勝で内田海智さんが、第8シードのマテ・パピッチ選手(クロアチア)に対し、4-6、7-6、10-8の逆転で勝ち、準決勝(ベスト4)に進出した。

ウィンブルドン・ジュニアでベスト4入りしたのは日本人男子としては内田さんが初めて。今後も世界で活躍される内田さんに皆様からの温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。



大阪府高校アメフト大会優勝 ——箕面自由学園にコールド勝ち

10月16日、関西大学第一高等学校グラウンドにおいて、大阪府高等学校アメリカンフットボール秋季大会決勝戦が行われ、47-7とコールドで箕面自由学園を破り、大阪大会優勝を決めた。第42回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会への出場が決定した。3年ぶり8度目の全国制覇に向けて、皆様からの温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。



大盛況の「梧桐祭」

高校、中学校による第65回梧桐祭が10月2日に催された。生徒会会長の「開会宣言」から始まり、軽音楽部、吹奏楽部、チアリーディング、ダンス部の活躍に加え、各クラスの出し物、ダンスあり、劇あり、歌あり。白熱した舞台は大きな拍手に包まれた。後援会による大人気のバザー、駐輪場に特設された模擬店では元気な呼び声が。各クラブやクラスによる教室の展示や、数日かけて収録された映像の放映もレベルが高く、実りの秋にふさわしい文化祭だった。



快晴に恵まれた「体育祭」



晴天の9月27日、高校の体育祭が開催された。今年初めての試みは、2年生進学コース全員による柔道形。太鼓に合わせた掛け声も凛々しく呼吸のあった7種類の「投の形」が披露された。午前の部のハイライトはスポーツコース全員による棒体操。前年度の完成を更に越えるべく、新挑戦の円形の演技から開始。統制の取れた表現にグラウンド全体が釘付け

になり、拍手の嵐だった。女子の活躍も見逃せない。2年女子全員の旗を使ったカラフルな創作ダンス、女子団の対抗リレーに女子教員も加わり声援が一段と華やいだ。今年は5団が優勝。個人種目200m走で3年生の塚田孝基君24秒48、学級対抗リレーで2年生スポーツコース2組による1分40秒の壁突破、と二つの大会新記録が出たことも特筆すべき快挙。転倒した選手、最下位を黙々と真摯に完走する走者にも励ましの拍手が送られた。



中学校体育祭も熱戦

中学校の体育祭は、9月23日に爽やかな秋晴れのもと行われた。入場行進に始まり、国旗・校旗の掲揚、平岡校長の挨拶、後援会長の祝辞の後、3年2組の辻一真君の力強い選手宣誓で熱戦の火ぶたが切られた。保護者の方々にもたくさんご参加いただき、盛り上がり無事終了した。





女子サッカー部、優勝に大きく貢献

山口国体決勝戦 大阪VS千葉(1-0) 10月6日

メンバー

- ・大阪代表コーチ 安田真季先生
- ・高3年Ⅲ類2組 松川 智
- ※U-19代表のため海外へ
- ・高3年Ⅲ類2組 佐藤比香理
- ・高2年Ⅲ類2組 濱本まりん
- ・OG(24期)大体大 六車美紀
- ・OG(26期)武庫川女 赤坂裕美
- ・OG(26期)武庫川女 森 茉唯
- ・OG(26期)高槻スぺランツァ 松井美樹

10月3～6日に行われた山口国体サッカー女子において、大阪選抜が初優勝を果たした。快挙を成し遂げた今回の国体メンバーに桐蔭の卒業生4人・現役生3人が選出された。(現役生の松川智さんはU-19日本代表に招集され不参加)。安田真季先生も大阪代表コーチとして参加するなど、女子サッカー部が誕生してわずか6年だが優勝に大きく貢献できた。なお、女子サッカー部は第20回全日本高等学校女子サッカー選手権大会(7/23～29・ヤマハスタジアム他)においても準優勝するなど、今後の活躍が期待される。

フィールドの外でも活躍!

女子サッカー部の生徒たちは、ほぼ毎朝、学校近隣および住道駅周辺の清掃を行っている。「ゴミで多いのはタバコやペットボトル。特にタバコは体に良くないし、ポイ捨てすると火事の危険もあります。散歩している犬が食べてしまうとかわいそうです。これからも、掃除を続けて学校周辺をきれいにしていきたいです」と中西希実子さん(高3)。近隣の方からは感謝とお礼の電話をいただいた。



ゴミを拾うサッカー部員

多彩な話芸 講談の魅力 —伝統芸能鑑賞会

9月10日、中学2、3年生対象に神田陽子先生による「楽しい講談教室」が伝統芸能鑑賞会として開かれた。

神田先生は崇城大学の客員教授もされ、平成18年からは女性で初めての日本講談協会会長も務められている。

講談の歴史や、弟子の生活、声の出し方など講談について説明を受けた後、みんな

で「佐野源左エ門駆けつけ」の一節を読み上げた。また、2年生の井戸さん、3年生の新田さんが高座に上がり「徂徠豆腐」を先生のご教授の下、披露して喝采を浴びた。最後に、神田先生の「孝女おあき」とオペラ講談「カルメン」を聴き、生徒たちは多彩な話芸に引き込まれていた。

生徒達の感想

●新田昌史さん(3年 ES3組)

独特な話し方と少ない道具だけで話の場面を表現する講談を初めて体験し、改めて日本の伝統芸能はすごいなと感じました。



新田昌史さん

●井戸貴博さん(2年 ES3組)

講談をやらせていただいて難しかったのは、「抑揚」と「目配せ」でした。でも、この難しさは逆に僕を講談の世界へ引きつけてくれました。



井戸貴博さん

環境・原発問題に聞き入る —文化講演会



9月17日、高校1年生を対象に「科学的な考え方をしっかりふまえ、環境・原発問題の克服を」と題して、安齋科学・平和事務所所長の安齋育郎先生からご講演いただいた。スプーン曲げやマジックの実演を通じて、一部から全体を決めつけてしまう危険性や本質を見抜くことの大切さを学んだ。福島で起こっている原発事故の話になると生徒の顔も真剣になっていた。

安齋先生は東京大学工学部原子力工学科を卒業し、立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長を務めておられ、環境・原発問題、疑似科学問題などにも取り組んでおられる。



ウエイスト



中川家



DEEP

大阪産業大学の大学祭、第46回「阪駒祭」が11月4日～6日に開催される。実行委員長の吉田裕平さん(経済学部3回生)が、今回のみどころについて語ってくれた。

テーマは

絆

で繋がる希望の光

BANKO

11月4日～6日開催



強



onlifecrew



▶ 東北に元気を届けたい

3月11日の震災から復興中の東北にまで届くほどの元気で学祭を盛り上げようという考えでこのテーマに至りました。初日の4日(金)は、10時から開会式が行われ、それに続き吹奏楽部による演奏が開幕を告げます。またダンスサークルによるダンスや大学祭実行委員会2回生による「2回生企画」もあります。そして、その日の最後「DEEP」が出演するコンサートがあります。

5日は、武道クラブによる型や模擬演技など毎年迫力ある演技を披露してくれる「演武祭」が行われます。「学生プロレス」では大阪学院プロレス研究会によるパフォーマンス。毎年小さな子供が楽しめるものから本格的な試合まで見せてくれます。「無料ライブ」では、「onlifecrew」「強」「ウエイスト」が出演します。

最終日の6日は、大学祭実行委員会1回生による「1

回生企画」、「吉本無料ライブ」では2001年M-1グランプリ王者の「中川家」や「和牛」「GAG少年楽団」が出演します。「侍・忍者ショー」では、時代劇で活躍している人たちが実際に目の前で殺陣(たて)を披露します。「留学生フェスティバル」では各国の留学生が民族舞踊や歌を披露し、毎年人気イベントの「カラオケ」も多くの参加者がそれぞれの歌声を披露してくれます。そしてライブを「そよかぜ」「MAQDYLOUNGE」「HAZZE」の3グループが行います。ダンスパーティーでは、DJが曲をながし自由参加で毎年盛り上がります。

16号館横ではフリーマーケットが連日開催され、その奥では新企画の学祭委員による「お化け屋敷」など、さまざまな企画を行います。

第46回実行委員長 吉田裕平

クラブ活動の記録

大阪産業大学

体育系クラブ

■柔道部

○全日本学生体重別選手権(10/7~9 日本武道館)個人男子60kg級ベスト8：柴田大地(人間環境4回)

※講道館杯全日本学生柔道体重別選手権大会出場権獲得

■空手道部

○系東会全国選手権(8/14~15東京武道館)一般男子・団体組手優勝：(大阪代表)小寺啓太(経済3回)○西日本選手権(8/28 熊本県菊池市総合体育館)一般男子・組手優勝：飯塚優志(生活1回)○近畿地区選手権(10/23兵庫県立武道館)一般女子・形優勝：勝岡未来(スポーツ2回)

■少林寺拳法部

○関西学生大会(7/17ベイコム総合体育館)女子三段以上の部優勝：貴代阿友美(経済4回)・上野美咲(スポーツ2回)組、男子単独段外の部優勝：奈良和紀(生活1回)

■ゴルフ部

○関西学生女子秋季2・3部校対抗戦(8/19フォレスト三木ゴルフ倶楽部)2部優勝：224ストローク=小猿・田中・長谷川※最優秀選手賞：小猿

■サイクリング部

○全日本学生RCS第5戦白馬ラウンド(8/6~7長野県北安曇郡白馬村)クラス3優勝：松田智史(経済1回)

■テコンドー部

○2011リンクステコンドーフェスティバル(8/21大阪産業大学体育館)一般男子中級-54kg級 優勝：横井智行(文コミ3回)、54.01-58kg級 優勝：劉軍前(文コミ3回)、68.01-80kg級 優勝：堀尾和行(機械工3回)

文化会クラブ

第13回大阪府支部連合会長杯将棋大会(10/2大阪市立淀川区民センター)団体戦Aクラス(無差別級)優勝：[甲南高OB] 大坪雄紀(経営3回)

プロキックボクサー

中嶋浩二

(スポーツ健康学科1回)

リングネーム：中嶋平八

試合

2011年11月3日(祝)

詳しくは誠至会ホームページ参照

<http://seishikai.jp/>



大阪産業大附属高等学校

体育系クラブ

■硬式テニス部

○2011関西ジュニア選手権(7/15~25靱テニスセンター)18歳以下男子ダブルス優勝：仲村元希(3P2)・中村侑平(2P2)組○大阪府私立高等学校総合体育大会(7/24~30MTP北村他)男子シングルス優勝：中村、男子ダブルス優勝：中村・梅岡優大(1P1)組○全日本ジュニア選手権(7/31~8/7靱テニスセンター)18歳以下男子ダブルス優勝：内田海智(2P2)・他校生組○大阪高校総体(8/17~20蜻蛉池公園、MTP北村)男子シングルス優勝：中村、3年生の部男子シングルス優勝：飛田悠真(3P1)

■少林寺拳法部

○大阪高校総体(9/4天王寺商業高)男子自由単独演武の部優勝：富田裕二(3U4)、男子規定単独演武の部優勝：辻雅人(2A1)、男子自由組演武の部優勝：宇山雅仁(3K1)・馬場園翼(1A2)組、男子団体の部優勝：北野康平(3A4)・服部佑将(3A3)・姫野大輝(2A1)・益田雄大(1U7)、総合の部優勝

大阪産業大附属中学校

体育系クラブ

■ウエイトリフティング部

○全国女子中学生選手権(8/17~18九州国際大学KUIドーム)48kg級優勝：村上安穂

大阪桐蔭高等学校

体育系クラブ

■女子サッカー部

○全日本高校女子選手権(7/23~29ヤマハスタジアム他)準優勝

■日本拳法部

○全国高校選手権(7/30京都伏見港公園体育館)団体女子の部準優勝、個人女子の部準優勝：高橋美樹(3II2)

■駅伝部

○近畿高校ユース選手権(9/16~18滋賀県皇子山陸上競技場)1500m2位：中村祐紀(1III3)3' 58" 28、5000m3位：細川隆太(1III3)15' 18" 77

文化会クラブ

■吹奏楽部

○関西吹奏楽コンクール(8/25尼崎市総合文化センター)金賞※全日本吹奏楽コンクール(10/23普門館)に出場

秋季近畿地区高校野球大阪府大会 優勝 東大阪大柏原に6-0 夏の雪辱

秋季近畿地区高校野球大阪府大会決勝が10月15日、舞洲ベースボールスタジアムで行われた。対戦相手は東大阪大柏原で今夏の大阪大会と同じ顔合わせ。桐蔭高校が6-0で圧勝し、3年連続5回目の優勝を飾った。10月22日から近畿地区大会に出場する。これからも応援よろしく願いたします。



東大阪大柏原0-6大阪桐蔭 一回裏大阪桐蔭、先頭打者の森が先制の右越え本塁打を放つ
Ⅱ大阪市此花区の舞洲ベースボールスタジアム

こころの病気は トレンドデュー?

のどかなイギリスの田舎の風景。川辺にベンチが置いてあるのが粋だと思いませんか? って、やっぱりイギリス最良かなあ。



キャンパスセラピー

⑭

人間環境学部文化コミュニケーション学科教授 中川 晶

どうも最近の、こころの病気の扱われ方が気に食わないんです。昔は病気ですらなかったものを何でもこころの病気にしてしまう最近の傾向のことなんですけどね。

昔から教室に一人や二人は変わった子がいっても「ま、個性か」とやり過ごしてたのに、マスコミや専門家の影響かもしれないけど「発達障害」だの「性同一性障害」だの「パーソナリティ障害」だの病名をつけて病人という分類をしてしまうのは、あまりいいことには思えないんです。もちろん、ばくも医者なので「発達障害」「性同一性障害」「パーソナリティ障害」といった病名を否定するつもりはありません。でもね、これらの病気は深刻なものから些細なものまで程度の差があって「ここから病気」「ここまでは病気でない」なんて簡単に分けられないんです。ましてや専門家でもない人が、これらの病名を振りかざすことは差別以外の何物でもないんだけど、あんがいつかってない人が多いんです。

だって、考えてもみてください。血液検査や画像検査がこんなに進んだ世の中だけど、こころの病気に関しては非力だね、客観的な検査はほとんど何もないに等しいんです。それじゃどうやって診断してるかというと、専門家といわれる人々が「こんな症状のある患者さんは、こういう病名で呼ぼう」と決めてるだけなんです。で、専門家とはどういう人かというと、専門教育を受けて多くの患者さんを診てきただけの人

でしょ。でも客観的な検査がない以上、専門家といえども魔法使いではないのだから、そう簡単に診断できるはずがないんです。なんていうと専門家仲間からばくが攻撃されそうだけど、ホントのことだから仕方ない。

もっと過激なことを言うと、こころの病気は周囲の受け取り方によって、ずいぶん違ったものになりそうです。例えば被害妄想で苦しんでいる人にこころの病気というレッテルを貼ることは本人にとって良い場合もあるけど、よけい苦しみを増してしまうこともあるんです。ところが、神様が試練のために苦しみを与えて、より高いレベルに達する前段階だと本気で考えられたら楽になるかもしれません。つまりは心の病気の場合、同じ症状であっても本人や周囲がどう解釈をするかで良くなったり悪くなったりするのだから始末が悪い。『病いは気から』なんて言葉がありますけどこころの病気の場合その傾向はより強くなります。とすれば、安易にこころの病気なんて信じないで自分で納得する物語をケースバイケースで考えていくことが、とても大事なことに思えます。

ばく自身も最近物忘れが激しいのでひょっとして認知症かなんて、ゾッとする考えがよぎったりしますが、考えてみれば、物忘れは今に始まったことじゃないし、ま、これも個性の一種と考えるようにしてます。そのほうが気が楽なもの。

編集後記

収穫の秋を迎えて、このたびのNeOSUへは学生・生徒の話題が多く寄せられました。▽大学は燃料電池車を始めとするピークル関係、産大高校および桐蔭高校ではスポーツの戦績を取り上げました。まず、大学では脱化石燃料としての燃料電池自動車、ソーラーカー、そして電気自動車など次世代ピークルの開発に取り組み、トップレベルの水準を維持しています。高校2校においては、評判通り、産大高校は大阪府高校アメフト大会優勝、桐蔭高校が秋季近畿地区高校野球大阪府大会優勝に輝きました。次の健闘を期待しています。そのほか、産大中学の女子生徒3人もそれぞれの課外活動で頑張っています。▽大阪マラソン2011を前に、スポーツ健康学科の佐藤真治准教授のゼミ生にスポーツへの熱い思いを語ってもらいました。走る前の体力確認、ケガの予防法と対処法、走る時間帯でのスポーツウェアの使い分けなどの専門的な話が新鮮であったと同時に、一方で当学科が完成年度を迎えたことを実感しました。▽「ズームアップこの人!」2人目となる職員は、産大中学社会科担当の山川智博先生です。先生は産大高校を卒業後、大学で少林寺拳法を始め、母校に戻り教鞭をとる傍ら生徒指導にあたっています。その指導力は平成19年の「文部科学大臣賞」、翌年には大阪府中高連から「優秀クラブ指導者賞」などで高い評価を受けています。▽今年の大学祭は、復興中の東北にまで元気が届くようにとの思いから、テーマに「絆」というキーワードを掲げての開催です。

(総合企画室 峠 孝尊)

お知らせ

おもしろ写真大募集



みなさんからの面白い写真を募集しております。編集部まで携帯、パソコンで応募してくださいね。締め切りは2011年12月31日(土)です。優秀作品にはプレゼントをご用意させていただきます。

情報(ネタ)お待ちしてます



NeOSU編集部では、大阪産業大学、桐蔭中高、産大中高に在籍している学生生徒のみなさんからの情報(ネタ)をお待ちしております。ご連絡をいただければ、取材にうかがいます。また、「取材に行ったり、記事を書いてみたいんですけど」という学生編集員さんも随時募集しています。

受付・連絡先

〒574-8530 大東市中垣内3-1-1

TEL 072(875)3001

FAX 072(875)3011

MAIL kouhou@osaka-sandai.ac.jp

学校法人 大阪産業大学 総合企画室 学園広報課まで

●学校名、学年、氏名、連絡先を必ずご記載下さい。

2011
10
月号

No.
17

発行元…学校法人大阪産業大学 総合企画室 学園広報課
〒574-8530 大東市中垣内3丁目1番1号
http://www.osaka-sandai.ac.jp

TEL: 072-875-3001